

自動車利用と環境に関する世論調査〈概要〉

令和5年3月

調査実施の概要

1 調査目的

ゼロ・エミッション・ビークル（Zero Emission Vehicle：電気自動車（EV）や燃料電池自動車（FCV）、プラグインハイブリッド自動車（PHV）など、走行時に二酸化炭素等の排出ガスを出さない自動車の総称。以下「ZEV」という。）に対する都民の意識や要望を把握し、今後のZEV普及促進に関する施策展開の参考とする。

2 調査項目

- (1) 自動車の保有・利用実態
- (2) 電気自動車等（ZEV）について
- (3) 電気自動車等（ZEV）を活用した企業活動に関する意見

3 調査設計

- (1) 調査対象：東京都全域に住む満18歳以上の男女個人
- (2) 標本数：4,000標本
- (3) 標本抽出方法：住民基本台帳に基づく層化二段無作為抽出法
- (4) 調査方法：郵送法（郵送送付・郵送回収、WEB〔インターネット〕回答併用）
- (5) 調査期間：令和4年10月28日～11月27日
- (6) 調査実施機関：一般社団法人輿論科学協会

(注) 「ゼロエミッション東京の実現に向けた自動車利用に関する世論調査」(平成30年)までは、3,000標本、個別訪問面接聴取法で実施

4 回収結果

- (1) 有効回収標本数（率） 1,821標本（45.5%）〔うち郵送1,135標本、インターネット686標本〕
- (2) 未完了標本数（率） 2,179標本（54.5%）

調査結果の概要

※nは質問に対する回答者数で、比率算出の基数を示す。

※個々の比率の合計は、全体の計に一致しないことがある。

※M. A. はいくつでも選択、3M. A. は3つまで選択

※M. T. は回答の合計をnで割った比率

※平成30年までの調査方法は、調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回から郵送法（インターネット回答併用）に変更したため、調査結果を単純に比較することはできないので留意が必要

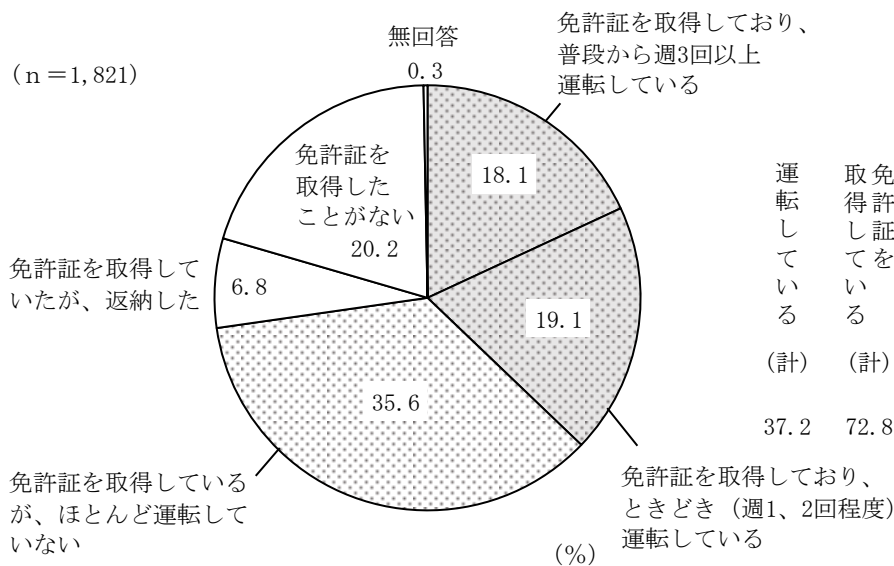
1 自動車の保有・利用実態

(1) 自動車運転免許証の取得・自動車運転の有無：自動車運転免許証を取得しているか、また、普段から自動車を運転しているか聞いた。

(本文P3～P5)

・『運転している（計）』は37%

・『免許証を取得している（計）』は73%



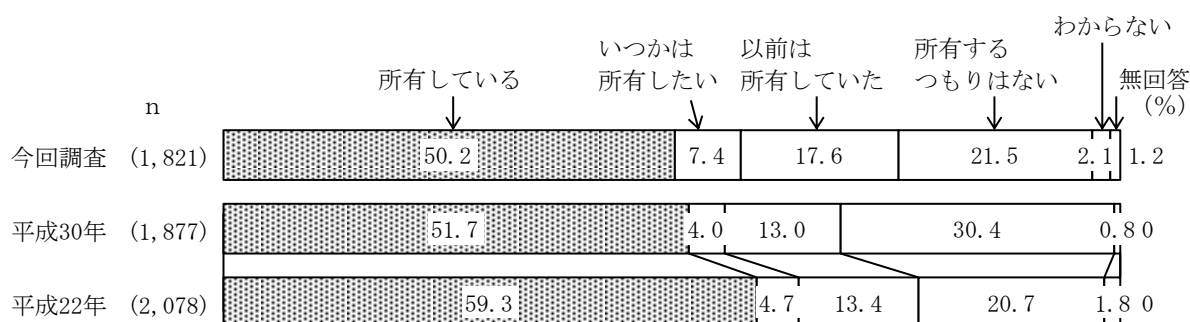
(注) 『運転している（計）』は「免許証を取得しており、普段から週3回以上運転している」「免許証を取得しており、ときどき（週1、2回程度）運転している」の合計

『免許証を取得している（計）』は「免許証を取得しており、普段から週3回以上運転している」「免許証を取得しており、ときどき（週1、2回程度）運転している」「免許証を取得しているが、ほとんど運転していない」の合計

(2) 自動車の所有の有無：世帯における自動車の所有状況を聞いた。

(本文 P6～P8)

- ・「所有している」は 50% (平成 30 年より 2 ポイント減少)
- ・「所有するつもりはない」は 22% (平成 30 年より 9 ポイント減少)



(注 1) 平成 30 年は「ゼロエミッション東京の実現に向けた自動車利用に関する世論調査 (平成 30 年 11 月調査)」
平成 22 年は「自動車利用と環境に関する世論調査 (平成 22 年 2 月調査)」

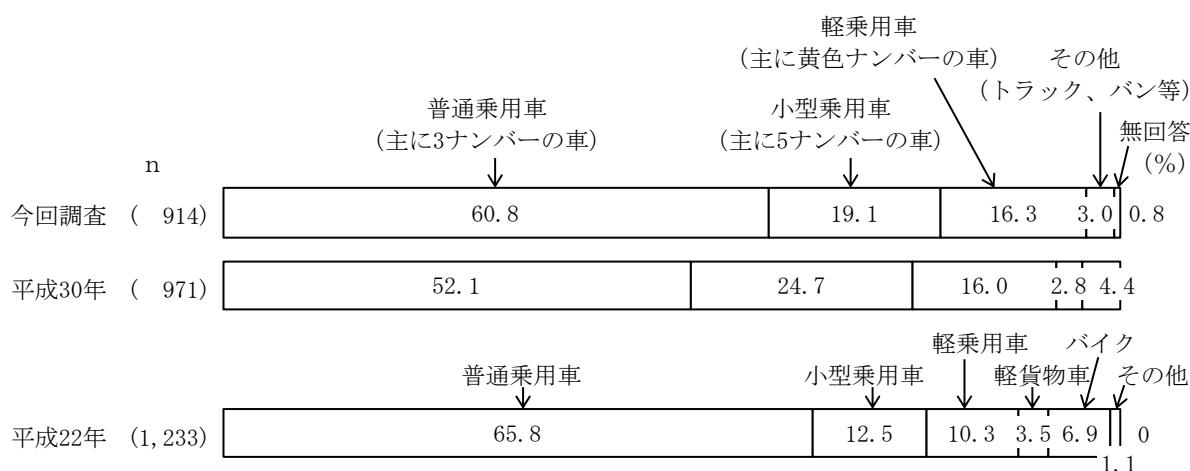
※調査対象は平成 30 年調査から 18 歳以上、平成 22 年は 20 歳以上

(注 2) 平成 22 年は自動二輪車も含む

(3) 所有している自動車の車種：自動車を「所有している」と答えた人 (914 人) に、利用日数が最も多い自動車の車種を聞いた。

(本文 P9～P11)

- ・「普通乗用車 (主に 3 ナンバーの車)」が 61% でトップ (平成 30 年より 9 ポイント増加)
- ・「小型乗用車 (主に 5 ナンバーの車)」19%、「軽乗用車 (主に黄色ナンバーの車)」16% が続く



(注 1) 平成 30 年は「ゼロエミッション東京の実現に向けた自動車利用に関する世論調査 (平成 30 年 11 月調査)」
平成 22 年は「自動車利用と環境に関する世論調査 (平成 22 年 2 月調査)」

※調査対象は平成 30 年調査から 18 歳以上、平成 22 年は 20 歳以上

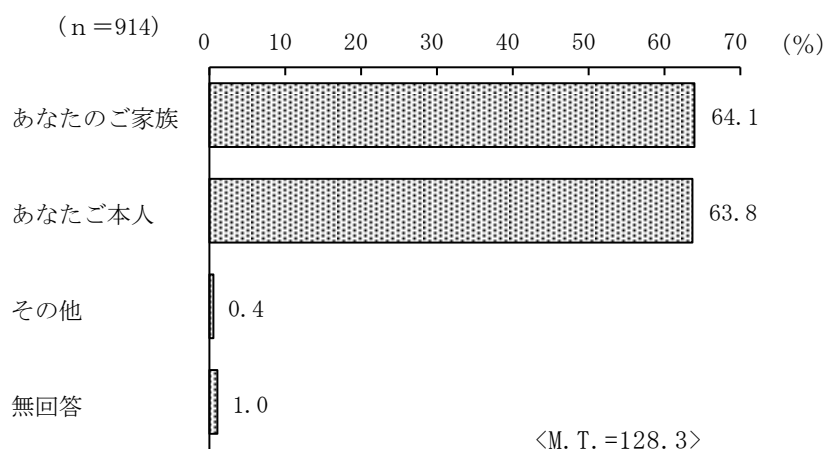
(注 2) 「その他 (トラック、バン等)」は平成 30 年からの選択肢

(注 3) 「軽貨物車」「バイク」は平成 22 年の選択肢

(4) 所有している自動車の運転者：自動車を「所有している」と答えた人（914人）に、その自動車の運転者を聞いた。（M. A.）

（本文P12）

・「あなたのご家族」、「あなたご本人」がともに64%

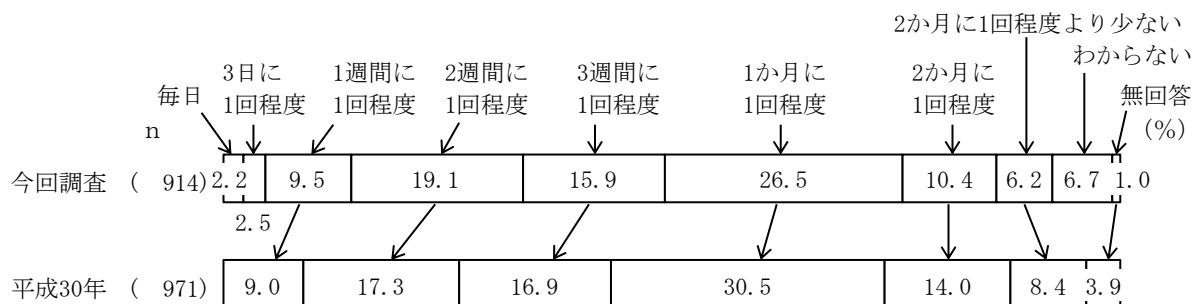


(5) 所有している自動車の給油・充電頻度：自動車を「所有している」と答えた人（914人）に、給油・充電頻度を聞いた。

（本文P13～P14）

・「1か月に1回程度」が27%でトップ（平成30年より4ポイント減少）

・「2週間に1回程度」19%、「3週間に1回程度」16%が続く



(注1) 平成30年は「ゼロエミッション東京の実現に向けた自動車利用に関する世論調査（平成30年11月調査）」

(注2) 「毎日」「3日に1回程度」「わからない」は今回からの選択肢

(6) 所有している自動車の平日の利用日数：自動車を「所有している」と答えた人（914人）に、平日の利用日数を聞いた。

（本文P15～P16）

- ・『利用している（計）』は80%（平成30年より5ポイント増加）
- ・「ほとんど利用しない」は18%（平成30年より6ポイント減少）

n	ほぼ毎日	週に2～3日程度	週に1日程度	ほとんど利用しない	わからない	無回答 (%)	利用している (計)
今回調査 (914)	33.9	25.3	20.4	17.8	1.6	1.0	79.5
平成30年 (971)	35.2	21.9	17.7	23.7	1.4	0	74.9
平成22年 (1,233)	35.2	21.6	17.0	24.7	1.5	0	73.8

(注1) 平成30年は「ゼロエミッション東京の実現に向けた自動車利用に関する世論調査（平成30年11月調査）」
平成22年は「自動車利用と環境に関する世論調査（平成22年2月調査）」

※調査対象は平成30年調査から18歳以上、平成22年は20歳以上

(注2) 『利用している（計）』は「ほぼ毎日」「週に2～3日程度」「週に1日程度」の合計

(7) 所有している自動車の平日の1回あたり平均走行時間：自動車を平日に「利用している」と答えた人（727人）に、平日の1回あたり平均走行時間を聞いた。

（本文P17～P18）

- ・「1～2時間未満」が37%でトップ
- ・「0.5～1時間未満」31%、「0.5時間未満」13%が続く

n	0.5時間未満	0.5～1時間未満	1～2時間未満	2時間以上	わからない	無回答 (%)
今回調査 (727)	12.8	31.1	37.0	11.4	5.2	0
平成30年 (971)	29.7	33.8	16.9	10.6	9.1	0

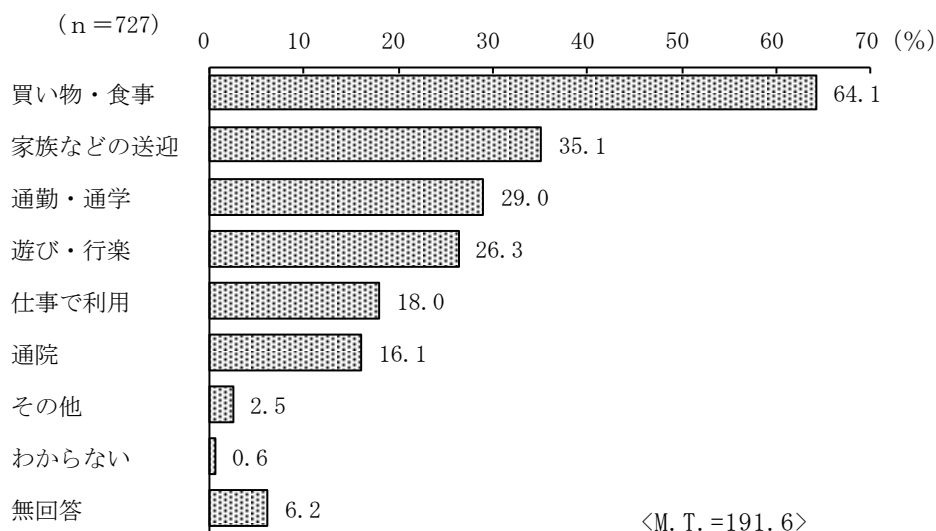
(注1) 平成30年は「ゼロエミッション東京の実現に向けた自動車利用に関する世論調査（平成30年11月調査）」

(注2) 平成30年とは選択肢の表記が変わっているため留意が必要

(8) 所有している自動車の平日の利用目的：自動車を平日に「利用している」と答えた人（727人）に、平日の利用目的を聞いた。（3M. A.）

（本文P19～P21）

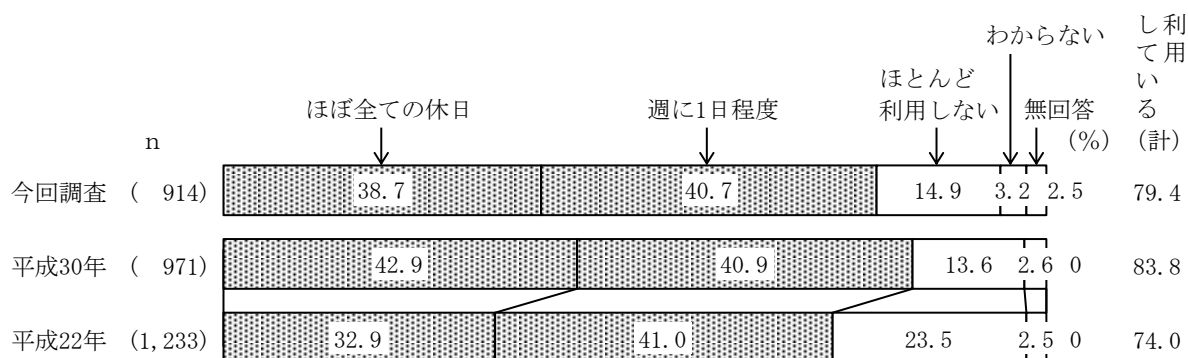
- ・「買い物・食事」が64%でトップ
- ・「家族などの送迎」35%、「通勤・通学」29%が続く



(9) 所有している自動車の休日の利用日数：自動車を「所有している」と答えた人（914人）に、休日の利用日数を聞いた。

（本文P22～P23）

- ・『利用している（計）』は79%（平成30年より4ポイント減少）
- ・「ほとんど利用しない」は15%（平成30年より1ポイント増加）



(注1) 平成30年は「ゼロエミッション東京の実現に向けた自動車利用に関する世論調査（平成30年11月調査）」
平成22年は「自動車利用と環境に関する世論調査（平成22年2月調査）」

※調査対象は平成30年調査から18歳以上、平成22年は20歳以上

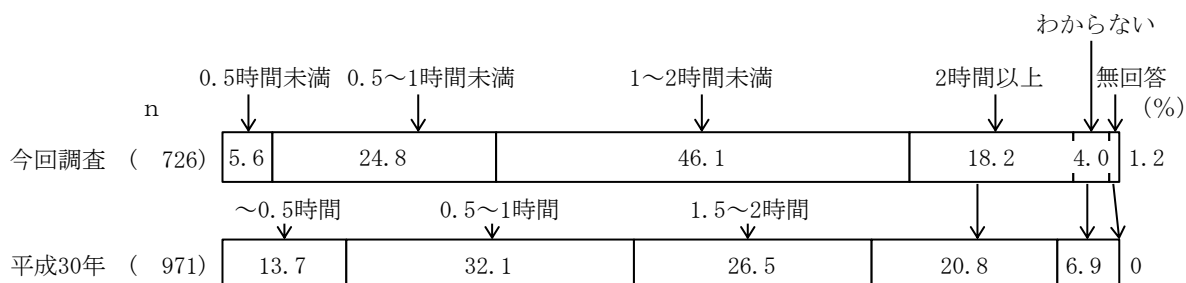
(注2) 「週に1日程度」は平成30年までは「休日のうち1日程度」

(注3) 『利用している（計）』は「ほぼ全ての休日」「週に1日程度」の合計

(10) 所有している自動車の休日の1回あたり平均走行時間：自動車を休日に「利用している」と答えた人（726人）に、休日の1回あたり平均走行時間を聞いた。

（本文P24～P25）

- ・「1～2時間未満」が46%でトップ
- ・「0.5～1時間未満」25%、「2時間以上」18%が続く

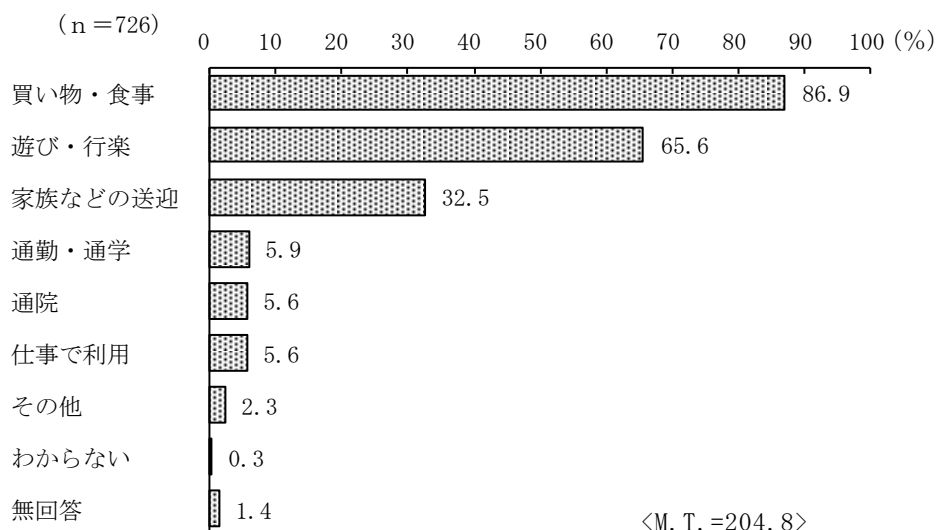


(注1) 平成30年は「ゼロエミッション東京の実現に向けた自動車利用に関する世論調査（平成30年11月調査）」
 (注2) 平成30年とは選択肢の表記が変わっているため留意が必要

(11) 所有している自動車の休日の利用目的：自動車を休日に「利用している」と答えた人（726人）に、休日の利用目的を聞いた。(3M. A.)

（本文P26～P28）

- ・「買い物・食事」が87%でトップ
- ・「遊び・行楽」66%、「家族などの送迎」33%が続く



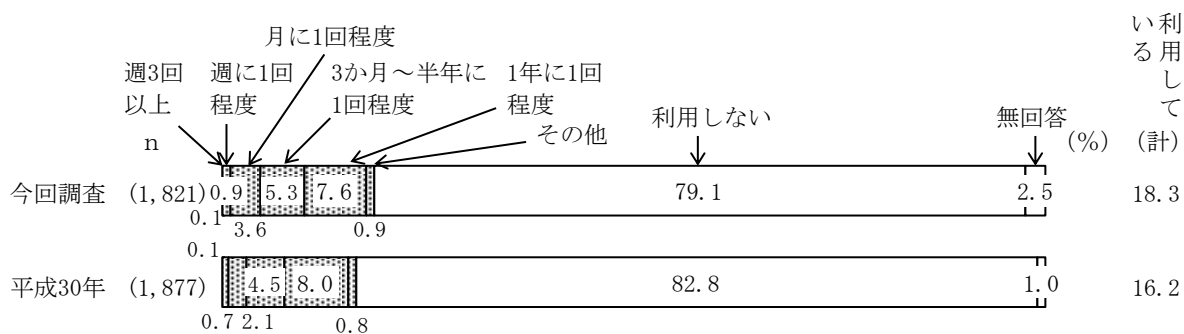
(12) カーシェアリングやレンタカーの利用頻度：カーシェアリングやレンタカーの利用頻度を聞いた。

(本文 P 29～P 32)

・『利用している（計）』は 18%（平成 30 年より 2 ポイント増加）

・「利用しない」は 79%（平成 30 年より 4 ポイント減少）

* カーシェアリングとは、一般に、登録を行った会員間で特定の自動車を共同使用するサービスのこと



(注 1) 平成 30 年は「ゼロエミッション東京の実現に向けた自動車利用に関する世論調査（平成 30 年 11 月調査）」

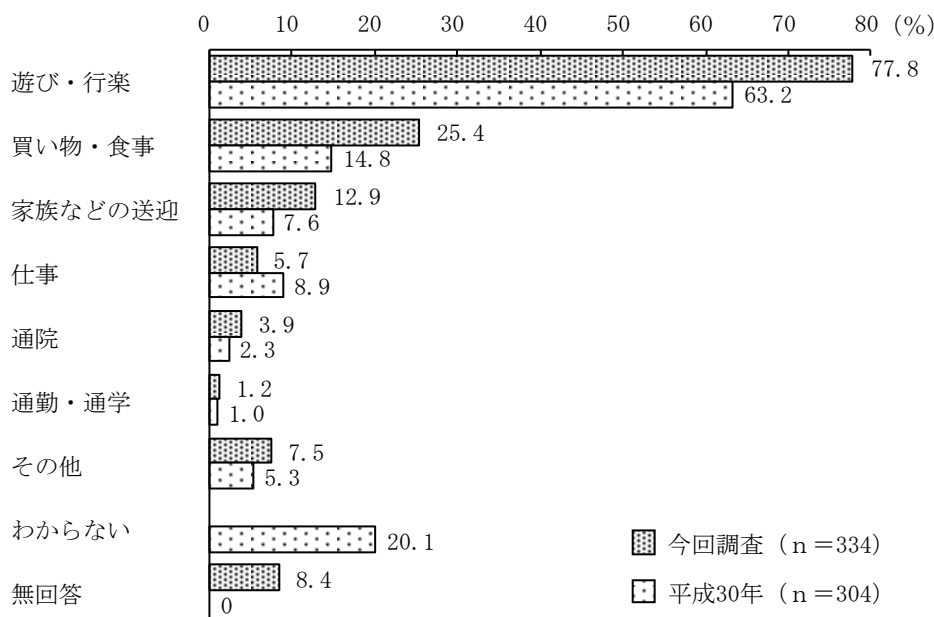
(注 2) 『利用している（計）』は「週 3 回以上」「週に 1 回程度」「月に 1 回程度」「3 か月～半年に 1 回程度」「1 年に 1 回程度」「その他」の合計

(13) カーシェアリングやレンタカーの利用目的：カーシェアリングやレンタカーを利用すると答えた人（334 人）に、利用目的を聞いた。（3M. A.）

(本文 P 33～P 35)

・「遊び・行楽」が 78% でトップ（平成 30 年より 15 ポイント増加）

・「買い物・食事」25%、「家族などの送迎」13%が続く



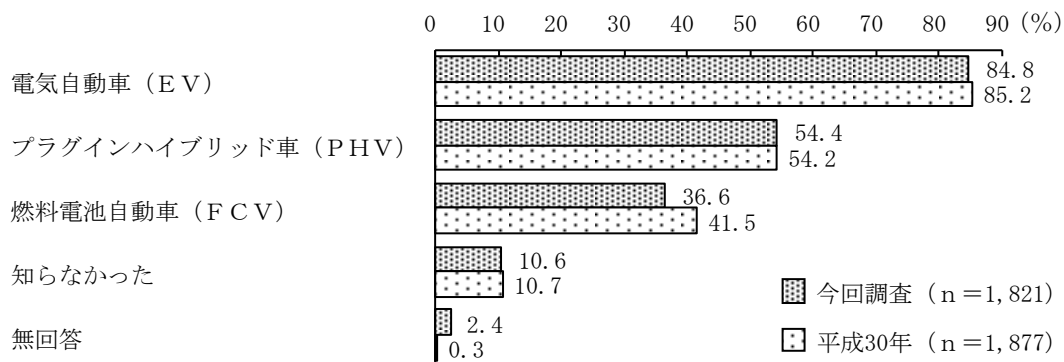
(注 1) 平成 30 年は「ゼロエミッション東京の実現に向けた自動車利用に関する世論調査（平成 30 年 11 月調査）」

(注 2) 「わからない」は平成 30 年の選択肢

2 電気自動車等（ZEV）について

(1) 電気自動車等（ZEV）の認知度：電気自動車等（ZEV）で知っているものを聞いた。(M. A.)
(本文 P36～P37)

- ・「電気自動車（EV）」が85%でトップ
- ・「プラグインハイブリッド車（PHV）」54%、「燃料電池自動車（FCV）」37%が続く



* ZEVとは

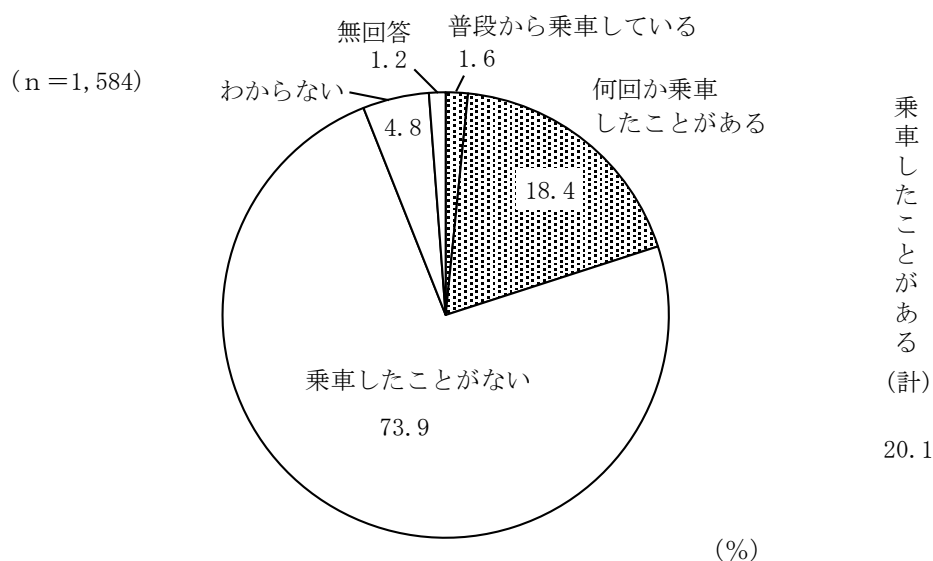
走行時に二酸化炭素等の排出ガスを出さない電気自動車（EV）や燃料電池自動車（FCV）、プラグインハイブリッド自動車（PHV）を総称してゼロ・エミッション・ビークル（Zero Emission Vehicle）といい、本調査では、これらを「電気自動車等（ZEV）」と呼ぶ。（通常のハイブリッド車（外部から充電できないハイブリッド車）は除く。）

(注) 平成30年は「ゼロエミッション東京の実現に向けた自動車利用に関する世論調査（平成30年11月調査）」

(2) 電気自動車等（ZEV）の乗車経験：電気自動車等（ZEV）で知っているものを答えた人（1,584人）に、電気自動車等（ZEV）の乗車経験を聞いた。

(本文 P38～P40)

- ・『乗車したことがある（計）』は20%
- ・「乗車したことがない」は74%

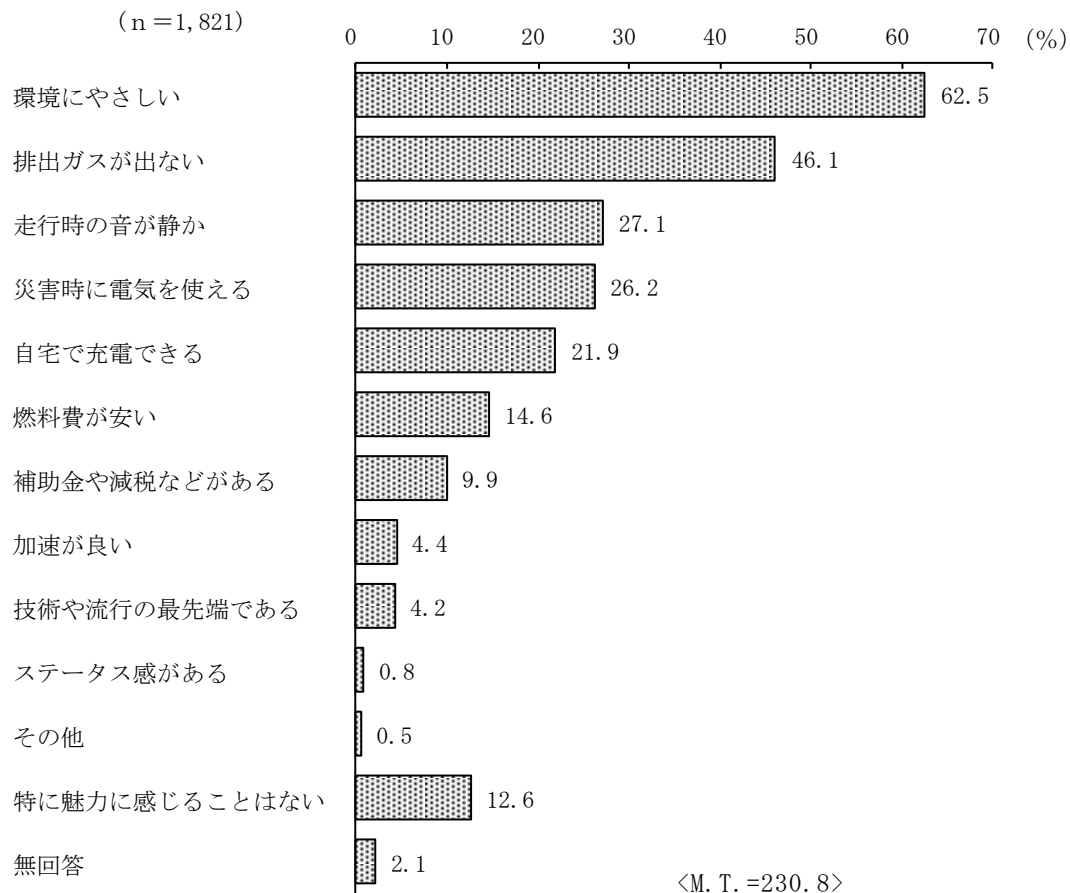


(注) 『乗車したことがある（計）』は「普段から乗車している」「何回か乗車したことがある」の合計

(3) 電気自動車等（ZEV）の魅力：電気自動車等（ZEV）について魅力を感じていることを聞いた。(3M. A.)

(本文P41～P44)

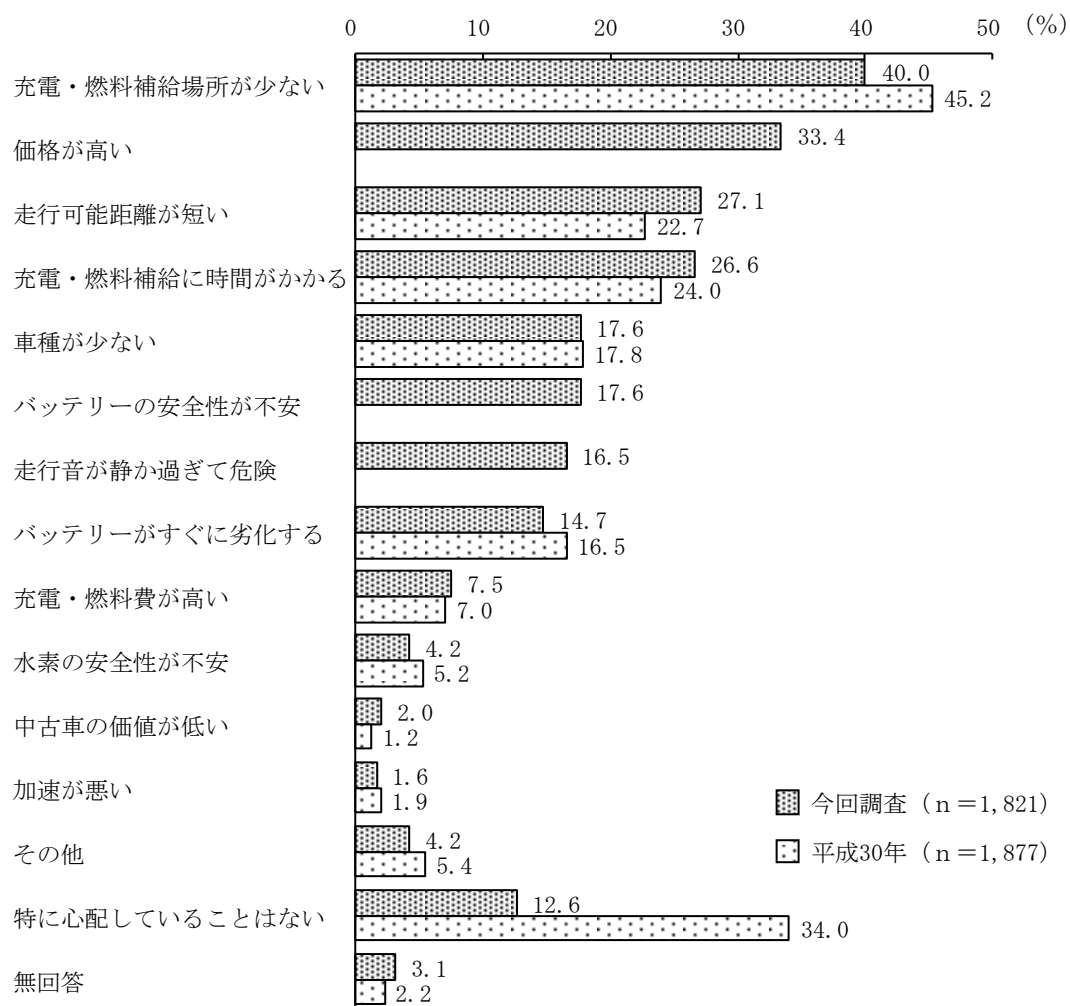
- ・「環境にやさしい」が63%でトップ
- ・「排出ガスが出ない」46%、「走行時の音が静か」27%が続く



(4) 電気自動車等（ZEV）についての心配事：電気自動車等（ZEV）について心配していることを聞いた。(3M. A.)

(本文 P 45～P 49)

- ・「充電・燃料補給場所が少ない」が40%でトップ（平成30年より5ポイント減少）
- ・「価格が高い」33%、「走行可能距離が短い」、「充電・燃料補給に時間がかかる」がともに27%で続く



(注1) 平成30年は「ゼロエミッション東京の実現に向けた自動車利用に関する世論調査（平成30年11月調査）」

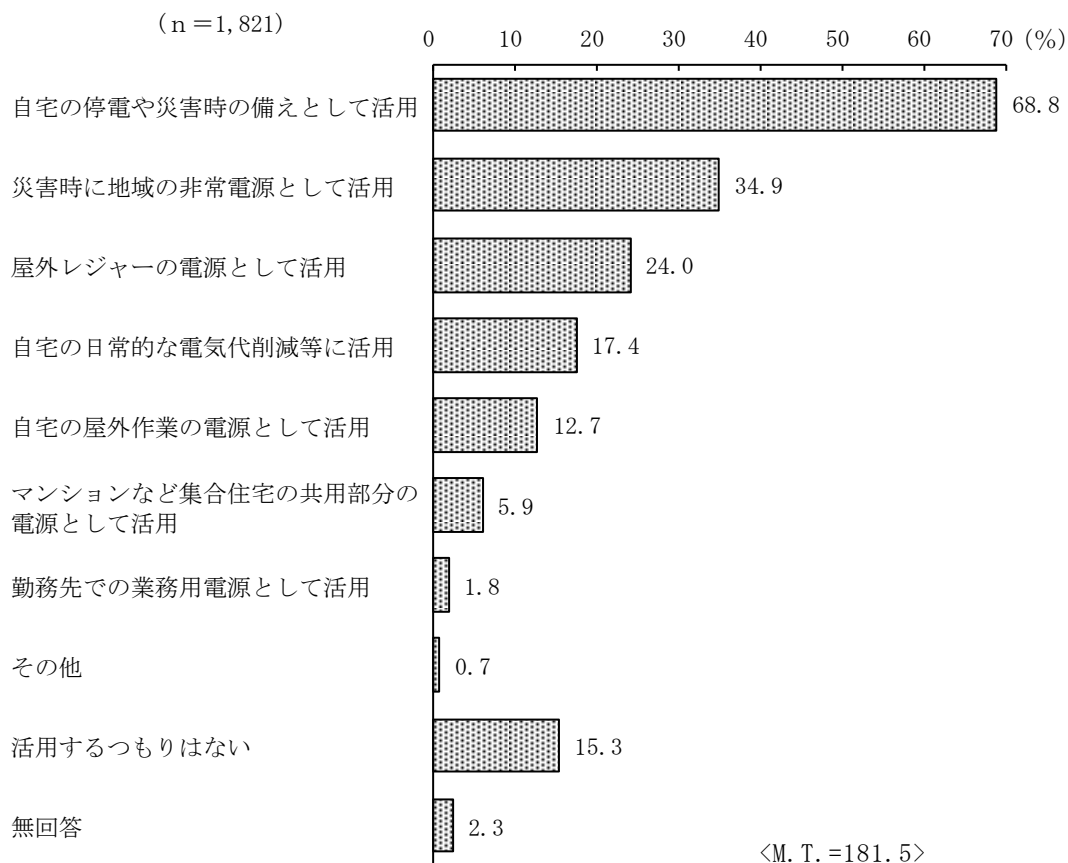
(注2) 「価格が高い」「バッテリーの安全性が不安」「走行音が静か過ぎて危険」は今回からの選択肢

(注3) 「充電・燃料費が高い」は平成30年では「燃料費が高い」

(5) 電気自動車等（ZEV）の機能の活用：電気自動車等（ZEV）の活用してもよいと思う機能を聞いた。（M. A.）

（本文 P50～P52）

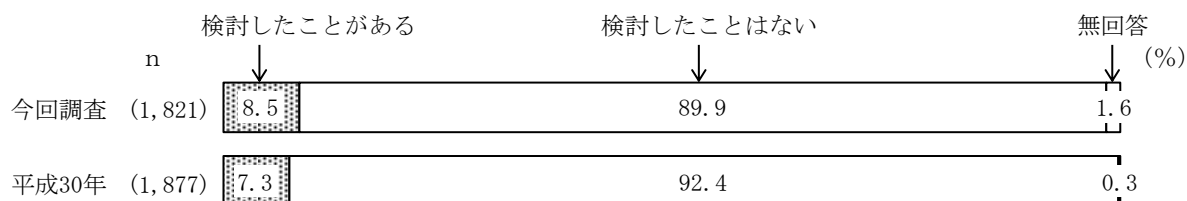
- ・「自宅の停電や災害時の備えとして活用」が 69% でトップ
- ・「災害時に地域の非常電源として活用」35%、「屋外レジャーの電源として活用」24% が続く



(6) 電気自動車等（ZEV）の購入検討の有無：電気自動車等（ZEV）の購入を検討したことがあるか聞いた。

（本文 P53～P56）

- ・「検討したことがある」は 9%（平成 30 年より 1 ポイント増加）
- ・「検討したことはない」は 90%（平成 30 年より 3 ポイント減少）

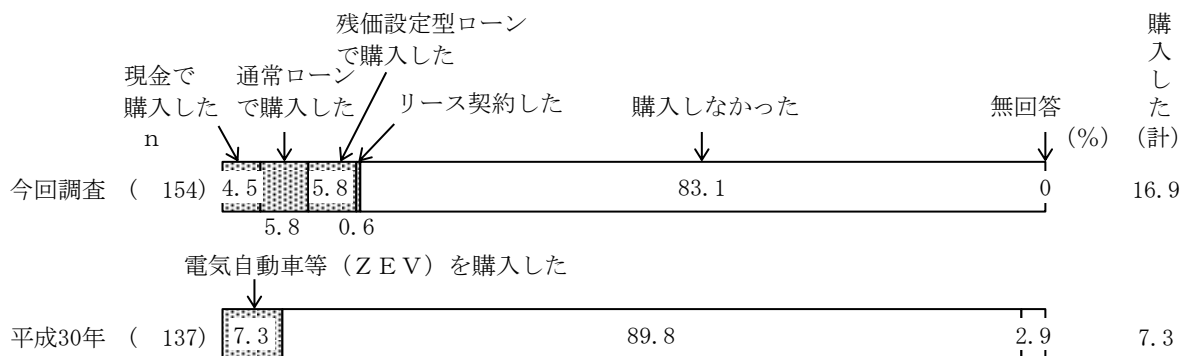


(注) 平成 30 年は「ゼロエミッション東京の実現に向けた自動車利用に関する世論調査（平成 30 年 11 月調査）」

(7) 電気自動車等（ZEV）の購入の有無：電気自動車等（ZEV）の購入を検討したことがあると答えた人（154人）に、検討の結果、購入したかどうか聞いた。

（本文P57～P59）

- ・『購入した（計）』は17%（平成30年より10ポイント増加）
- ・『購入しなかった』は83%（平成30年より7ポイント減少）



* 残価設定型ローンは、自動車を中心に普及している。設定した残価（将来の下取り価格）を差し引いた後の商品価格に対してローンを組むため、月々の返済額を抑えられる反面、返済終了後の商品の状態（自動車であれば傷の有無や走行距離等）によっては、設定した残価よりも査定額が下回り、商品を返却したい場合に差額を支払う必要があるなど、注意を要する点もある。

(注1) 平成30年は「ゼロエミッション東京の実現に向けた自動車利用に関する世論調査（平成30年11月調査）」

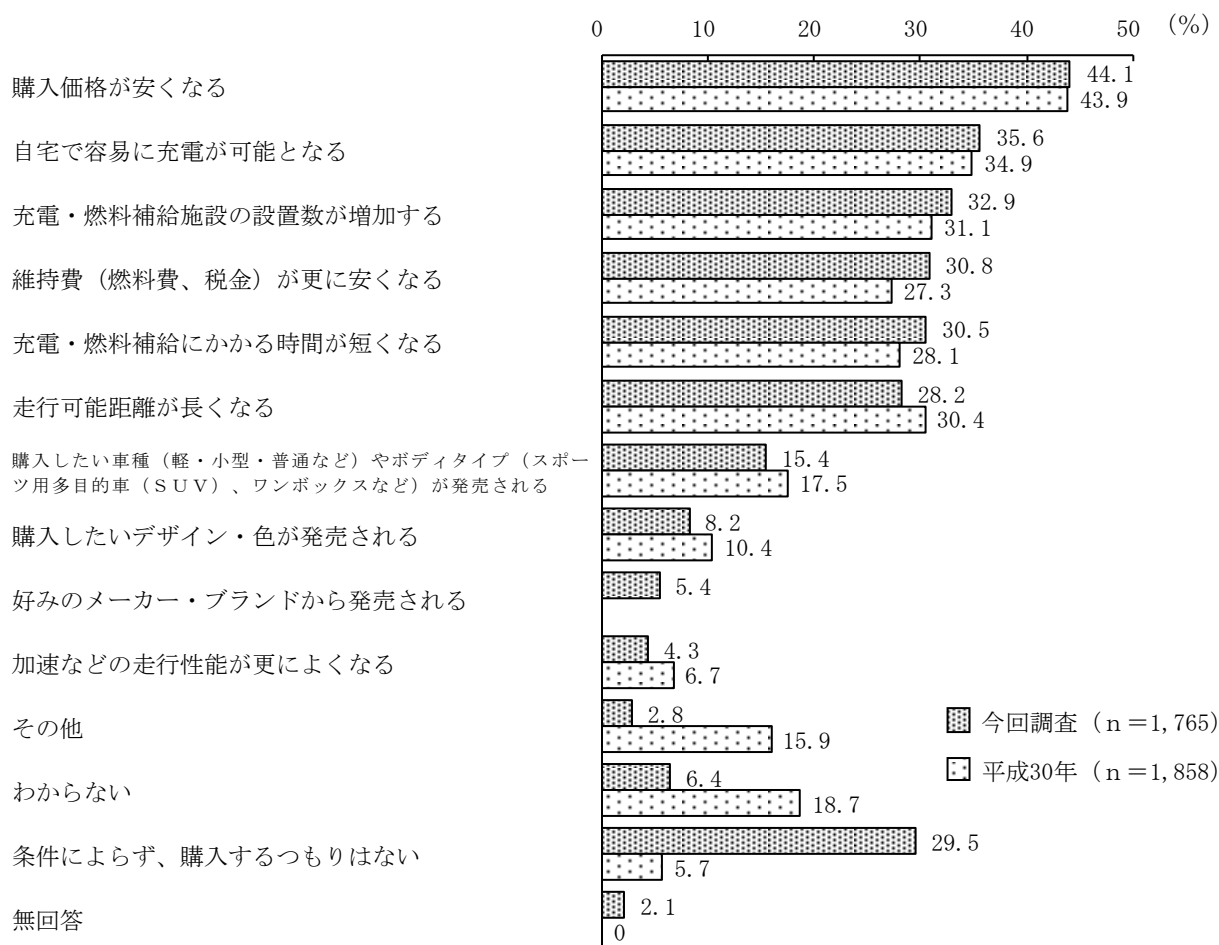
(注2) 『購入した（計）』は「現金で購入した」「通常ローンで購入した」「残価設定型ローンで購入した」「リース契約した」の合計

(8) 電気自動車等（ZEV）を購入または検討したいと思う条件：電気自動車等（ZEV）の購入を検討しなかった、または検討した結果購入しなかったと答えた人（1,765人）に、電気自動車等（ZEV）を購入または検討したいと思う条件を聞いた。（M.A.）

（本文P60～P64）

・「購入価格が安くなる」が44%でトップ

・「自宅で容易に充電が可能となる」36%、「充電・燃料補給施設の設置数が増加する」33%が続く



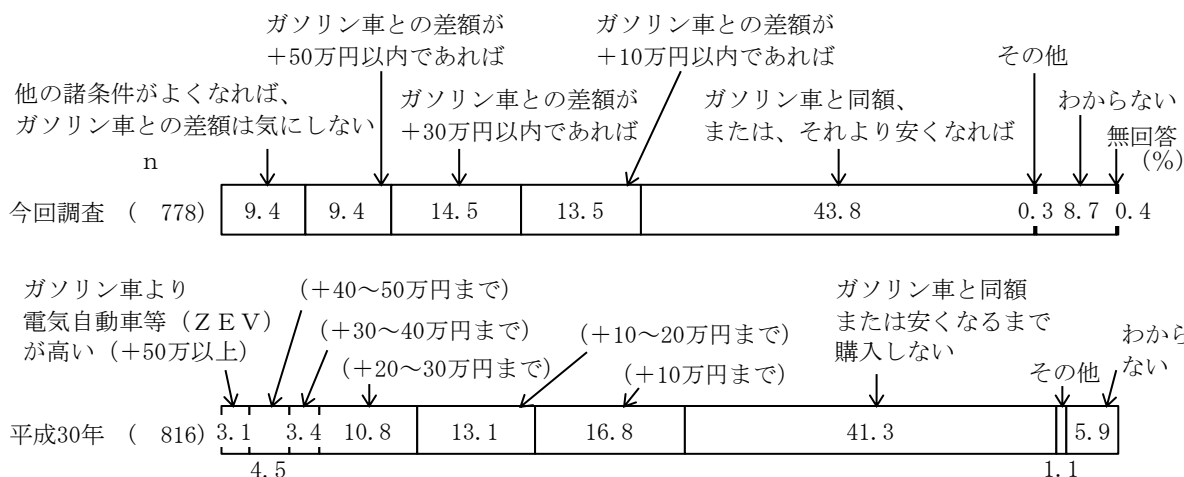
（注1）平成30年は「ゼロエミッション東京の実現に向けた自動車利用に関する世論調査（平成30年11月調査）」

（注2）「購入したい車種（軽・小型・普通など）やボディタイプ（スポーツ用多目的車（SUV）、ワンボックスなど）が発売される」は平成30年では「購入したい車種（軽・小型・普通など）が発売される」、「条件によらず、購入するつもりはない」は平成30年では「ガソリン車が好きだから購入しない」

（注3）「好みのメーカー・ブランドから発売される」は今回からの選択肢

(9) 購入したいと思うガソリン車と電気自動車等（ZEV）の差額：電気自動車等（ZEV）を購入または検討したいと思う条件で「購入価格が安くなる」と答えた人（778人）に、ガソリン車との差額がどの程度であれば購入したいと思うか聞いた。
 (本文P65～P67)

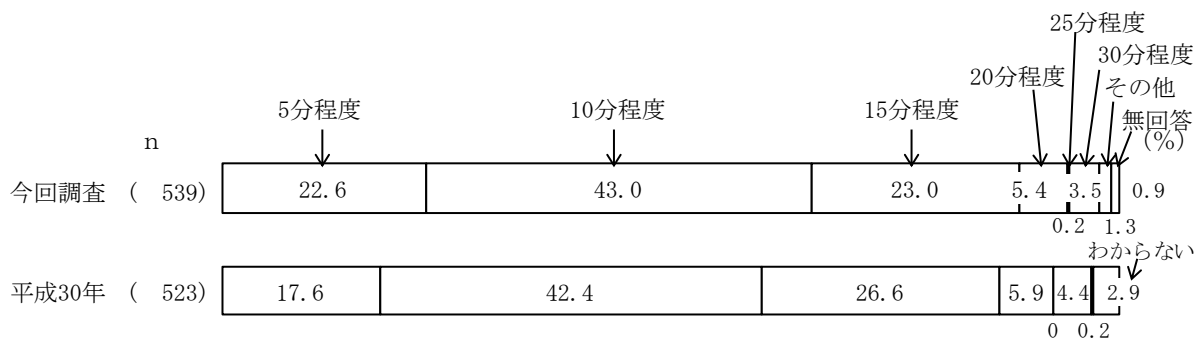
- ・「ガソリン車と同額、または、それより安くなれば」が44%でトップ
- ・「ガソリン車との差額が+30万円以内であれば」15%、「ガソリン車との差額が+10万円以内であれば」14%が続く



(注1) 平成30年は「ゼロエミッション東京の実現に向けた自動車利用に関する世論調査（平成30年11月調査）」
 (注2) 平成30年とは選択肢の表記が変わっているため留意が必要

(10) 外出先での電気自動車（EV）の充電時間：電気自動車等（ZEV）を購入または検討したいと思う条件で「充電・燃料補給にかかる時間が短くなる」と答えた人（539人）に、外出先での充電にかかる時間がどの程度であれば購入したいと思うか聞いた。
 (本文P68～P69)

- ・「10分程度」が43%でトップ（平成30年より1ポイント増加）
- ・「15分程度」23%、「5分程度」23%が続く

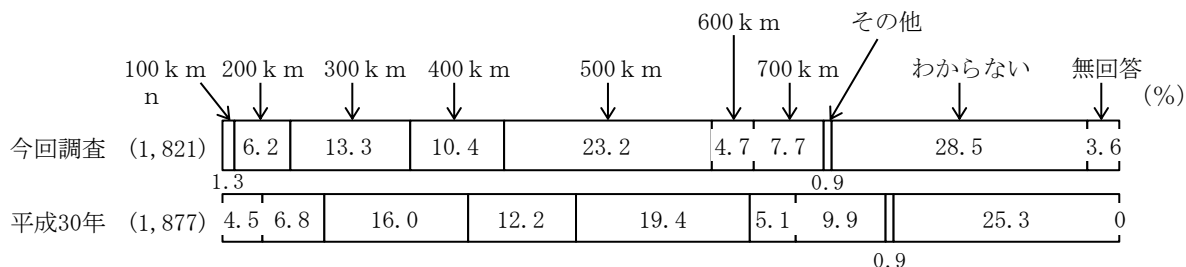


(注1) 平成30年は「ゼロエミッション東京の実現に向けた自動車利用に関する世論調査（平成30年11月調査）」
 (注2) 「わからない」は平成30年の選択肢

(11) 電気自動車（EV）の走行距離への期待：電気自動車（EV）に期待するフル充電で可能な走行距離について聞いた。

(本文 P70～P72)

- ・「500km」が23%でトップ（平成30年より4ポイント増加）
- ・「300km」13%、「400km」10%が続く



(注) 平成30年は「ゼロエミッション東京の実現に向けた自動車利用に関する世論調査（平成30年11月調査）」

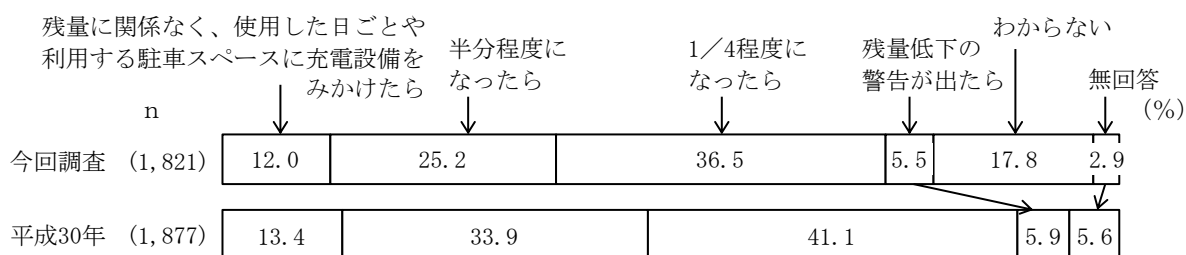
<参考：距離の目安（東京・日本橋から）>

- 約100km：熱海、宇都宮、水戸、前橋
- 約200km：静岡、白河
- 約300km：豊橋、福島
- 約400km：四日市、石巻、富山
- 約500km：京都、金沢
- 約600km：和歌山、秋田
- 約700km：岡山、弘前

(12) 電気自動車（EV）のバッテリー充電について：電気自動車（EV）のバッテリー残量がどの程度になったら充電したいか聞いた。

(本文 P73～P75)

- ・「1/4程度になったら」が37%でトップ（平成30年より5ポイント減少）
- ・「半分程度になったら」25%、「残量に関係なく、使用した日ごとや利用する駐車スペースに充電設備をみかけたら」12%が続く



(注1) 平成30年は「ゼロエミッション東京の実現に向けた自動車利用に関する世論調査（平成30年11月調査）」

(注2) 「残量に関係なく、使用した日ごとや利用する駐車スペースに充電設備をみかけたら」は平成30年では「使用する度に充電したい」、「残量低下の警告が出たら」は平成30年では「ギリギリまで充電しない」

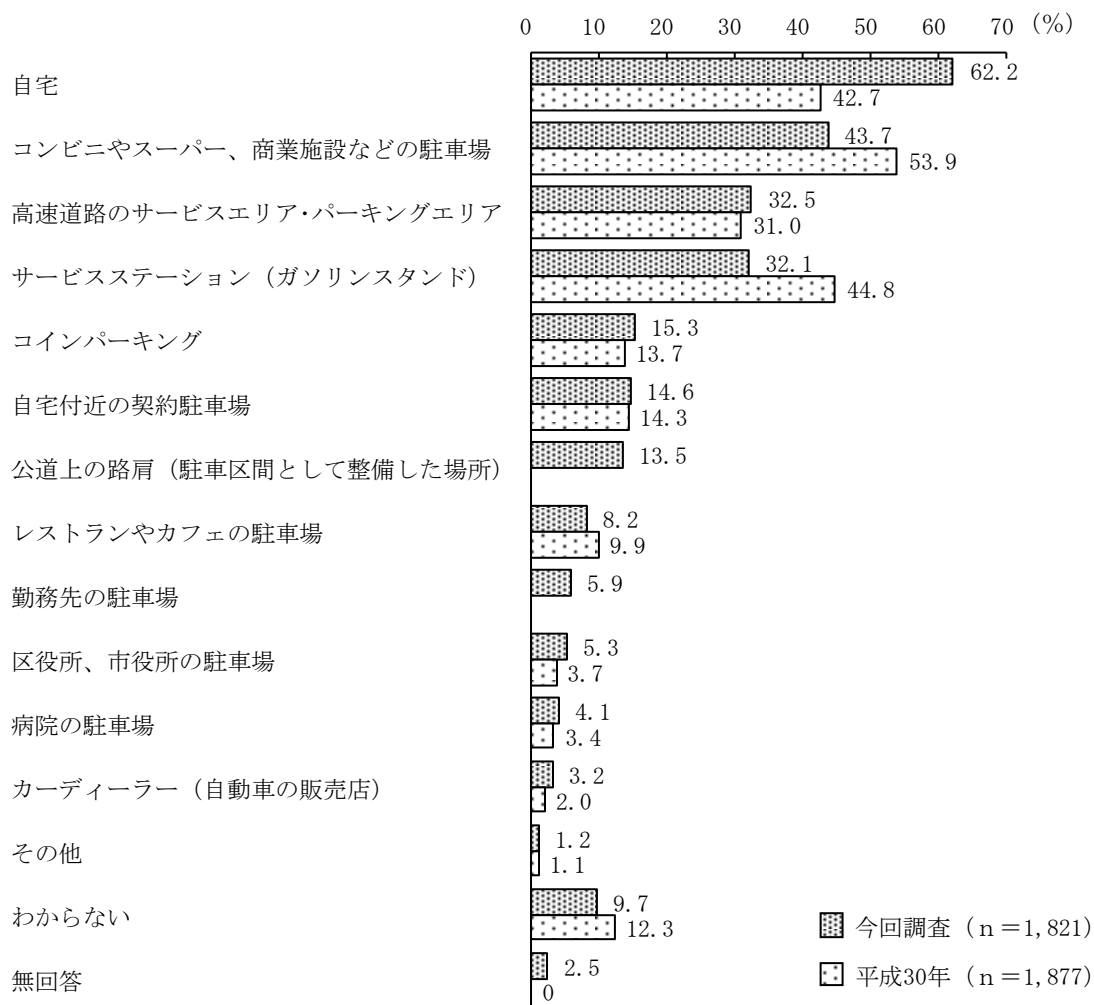
(注3) 「わからない」は今回調査からの選択肢

(13) 充電設備設置場所の希望：どこに電気自動車（EV）の充電設備があればよいと思うか聞いた。

(3M. A.)

(本文 P 76～P 80)

- ・「自宅」が62%でトップ（平成30年より20ポイント増加）
- ・「コンビニやスーパー、商業施設などの駐車場」44%、「高速道路のサービスエリア・パーキングエリア」33%が続く



(注1) 平成30年は「ゼロエミッション東京の実現に向けた自動車利用に関する世論調査（平成30年11月調査）」

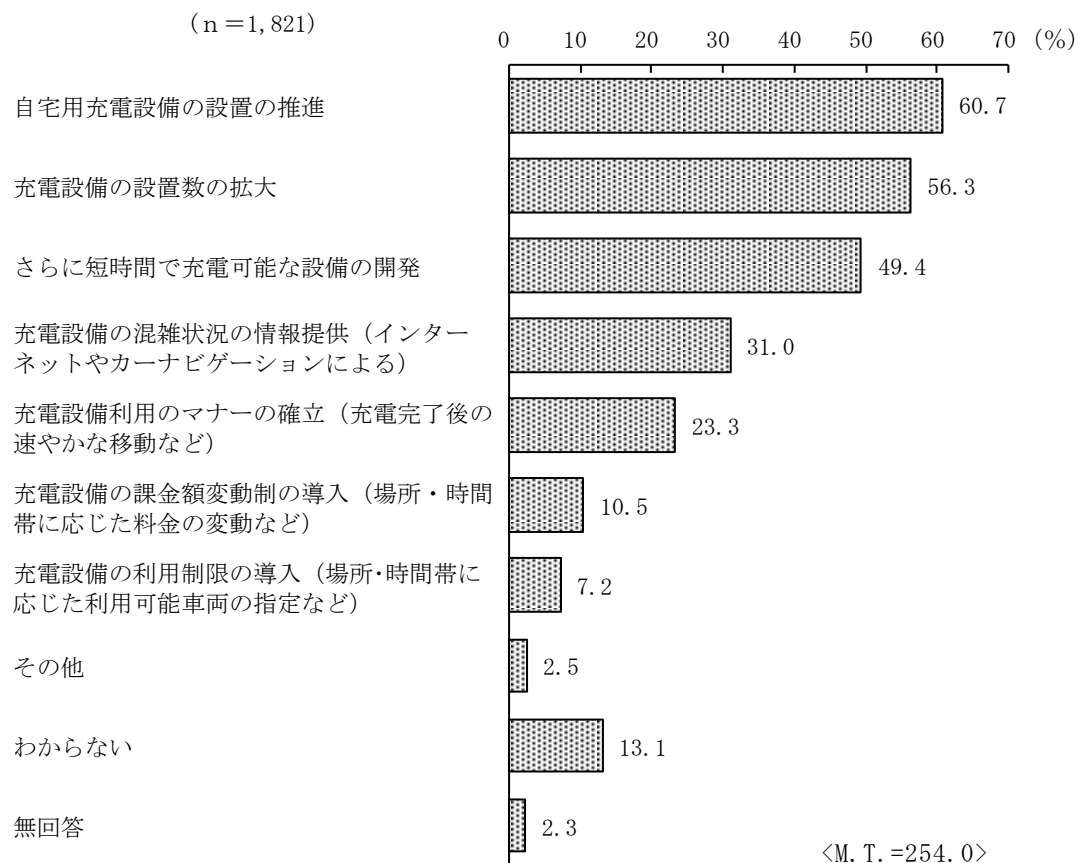
(注2) 「コンビニやスーパー、商業施設などの駐車場」は平成30年では「コンビニやスーパーなどの駐車場」、「自宅付近の契約駐車場」は平成30年では「自宅付近の普段利用している駐車場」、「区役所、市役所の駐車場」は平成30年では「区役所、市役所」、「病院の駐車場」は平成30年では「病院」、「カーディーラー（自動車の販売店）」は平成30年では「カーディーラー」

(注3) 「公道上の路肩（駐車区間として整備した場所）」「勤務先の駐車場」は今回からの選択肢

(14) 充電設備の混雑の回避方法：充電設備の混雑をどのような方法で回避できるとよいと思うか聞いた。(M. A.)

(本文P81～P84)

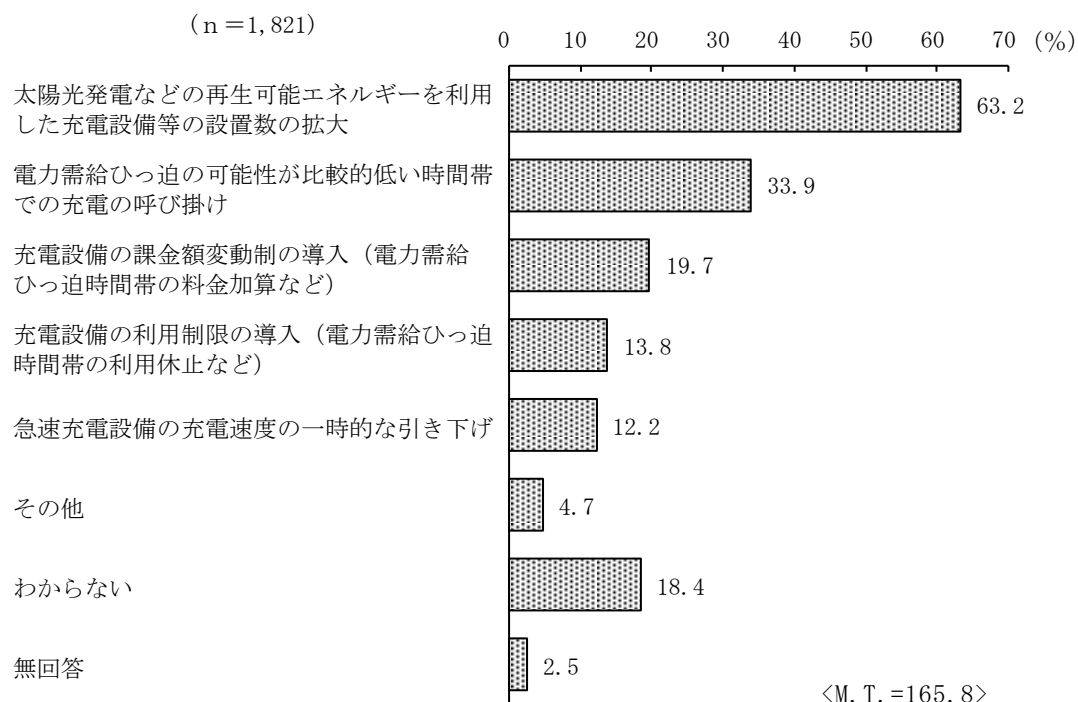
- ・「自宅用充電設備の設置の推進」が61%でトップ
- ・「充電設備の設置数の拡大」56%、「さらに短時間で充電可能な設備の開発」49%が続く



(15) 電気自動車（EV）の充電集中の回避方法：多くの車両の同時充電による電力需要の増大を、どのような方法で回避するのがよいと思うか聞いた。（M. A.）

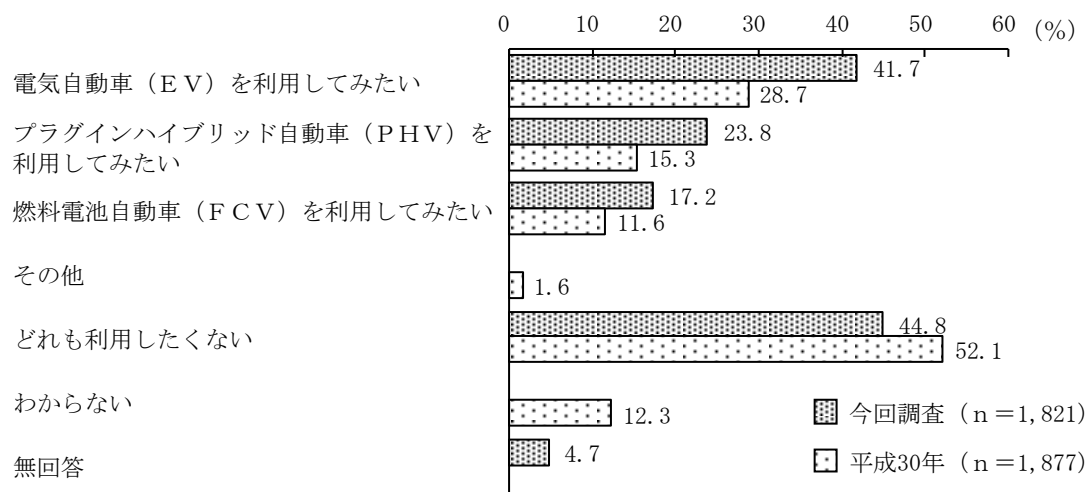
（本文 P85～P88）

- ・「太陽光発電などの再生可能エネルギーを利用した充電設備等の設置数の拡大」が63%でトップ
- ・「電力需給ひっ迫の可能性が比較的低い時間帯での充電の呼び掛け」34%、「充電設備の課金額変動制の導入（電力需給ひっ迫時間帯の料金加算など）」20%が続く



(16) 利用してみたい電気自動車等（ZEV）：電気自動車等（ZEV）をレンタカーやカーシェアリングで利用してみたいと思うか聞いた。（M.A.）
 （本文P89～P91）

- ・「電気自動車（EV）を利用してみたい」が42%でトップ（平成30年より13ポイント増加）
- ・「プラグインハイブリッド自動車（PHV）を利用してみたい」24%、「燃料電池自動車（FCV）を利用してみたい」17%が続く



（注1）平成30年は「ゼロエミッション東京の実現に向けた自動車利用に関する世論調査（平成30年11月調査）」
 （注2）「その他」「わからない」は平成30年の選択肢

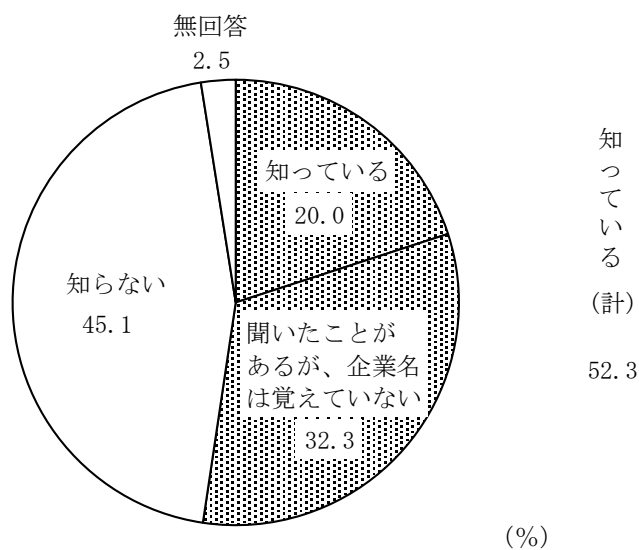
3 電気自動車等（ZEV）を活用した企業活動について

(1) 電気自動車等（ZEV）を導入する企業の認知度：環境への配慮の一環やSDGs（持続可能な開発目標）の取組として電気自動車等（ZEV）を導入する企業を知っているか聞いた。

（本文P92～P93）

- ・『知っている（計）』は52%
- ・「知らない」は45%

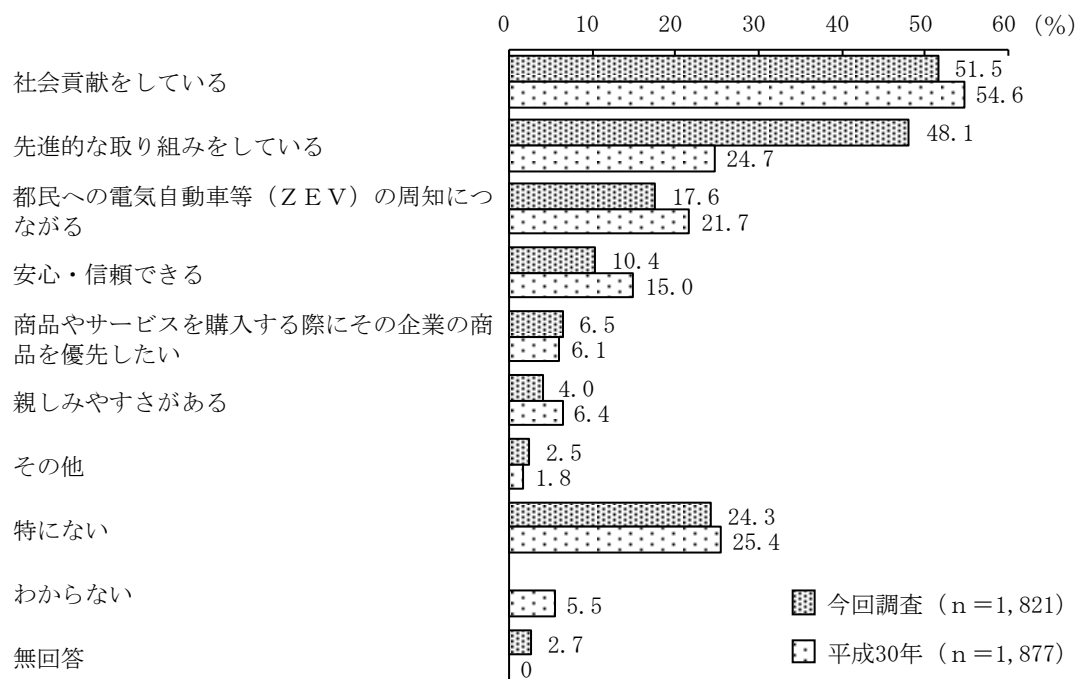
(n=1,821)



（注）『知っている（計）』は「知っている」「聞いたことがあるが、企業名は覚えていない」の合計

(2) 電気自動車等（ZEV）の導入に取り組む民間企業について：電気自動車等（ZEV）の導入に取り組んだ民間企業をどのように思うか聞いた。(3M. A.)
(本文 P94～P96)

- ・「社会貢献をしている」が52%でトップ（平成30年より3ポイント減少）
- ・「先進的な取り組みをしている」48%、「都民への電気自動車等（ZEV）の周知につながる」18%が続く



(注1) 平成30年は「ゼロエミッション東京の実現に向けた自動車利用に関する世論調査（平成30年11月調査）」
(注2) 「先進的な取り組みをしている」は平成30年では「企業の電気自動車等（ZEV）の導入が先進的である」
(注3) 「わからない」は平成30年の選択肢

(3) 電気自動車等（ZEV）の導入・普及に向けた民間企業への期待：電気自動車等（ZEV）の導入・普及に向けて、民間企業に何を期待するか聞いた。

(M. A.)

(本文 P97～P98)

- ・「不特定の方が利用できる充電設備の設置（お客様用駐車場の設置など）」が42%でトップ
- ・「停電時等に社有ZEVを電源車として活用（社有施設におけるスマートフォンの充電サービスの実施など）」34%、「ZEVと太陽光発電等を活用した社有施設のエネルギー管理の進展」31%が続く

